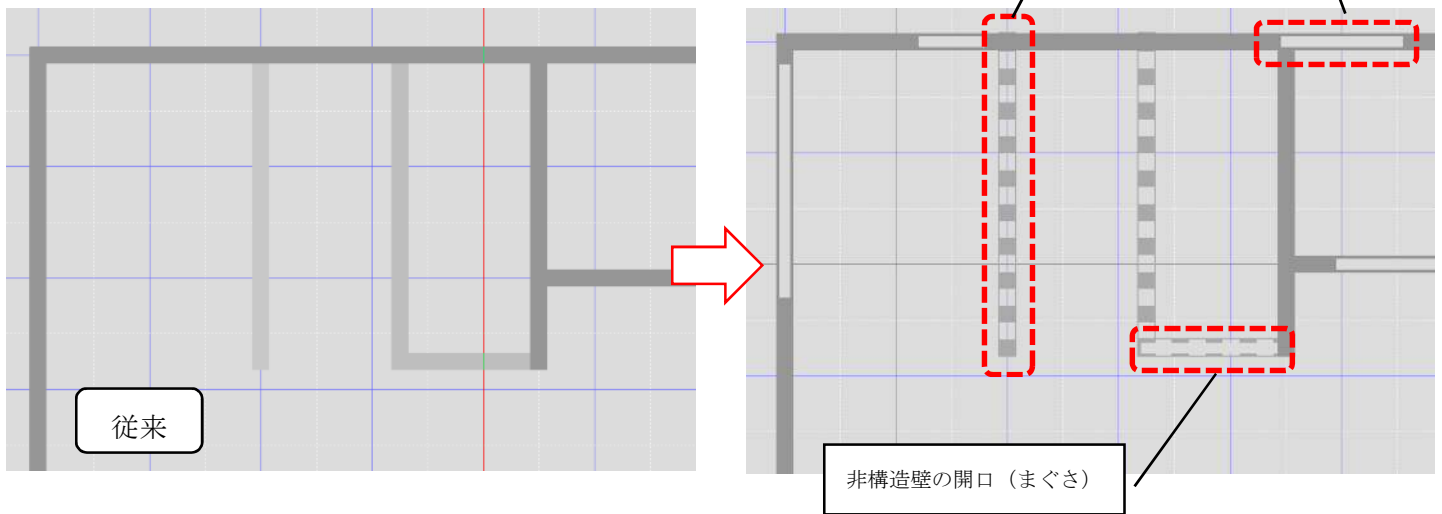


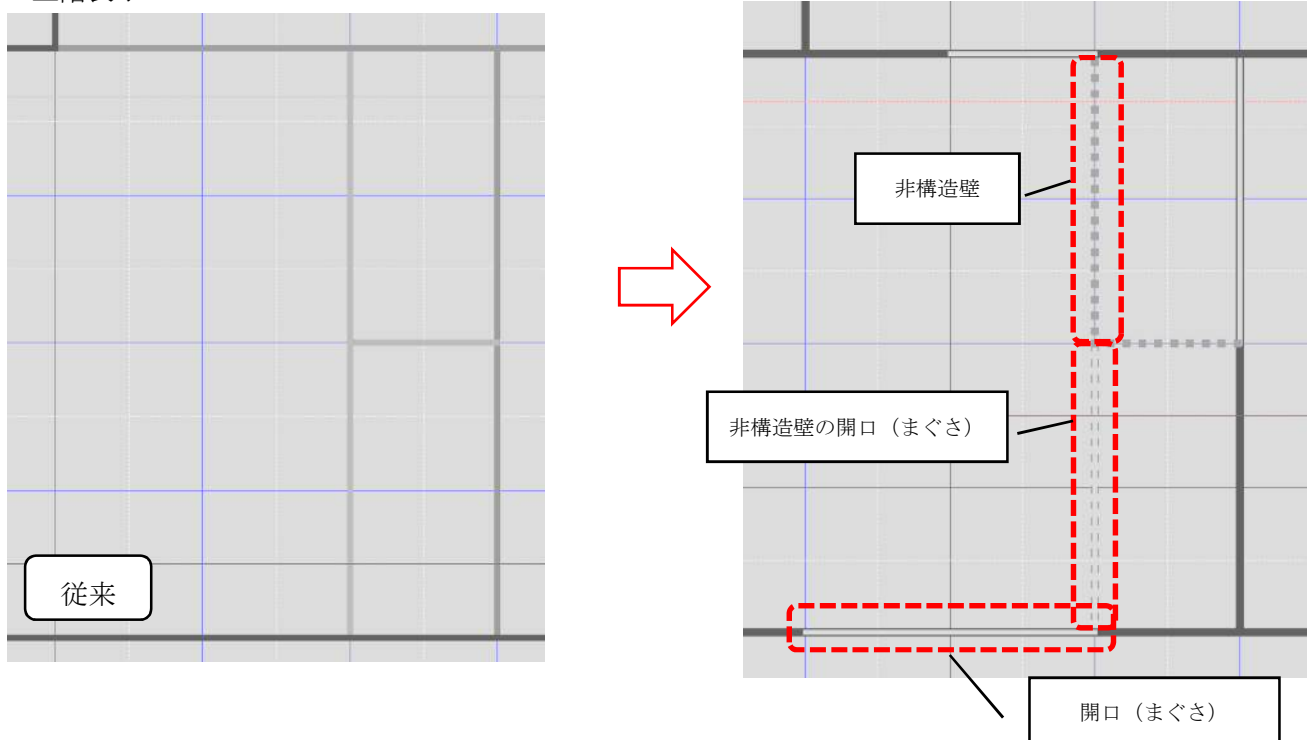
らくわくバージョンアップ Version 1.1.9 のご紹介

- 壁線の下階、上階表示で開口部や間仕切り壁（手摺壁）が識別できるように改善しました  
※間仕切り壁（非構造壁）は点線表現になります

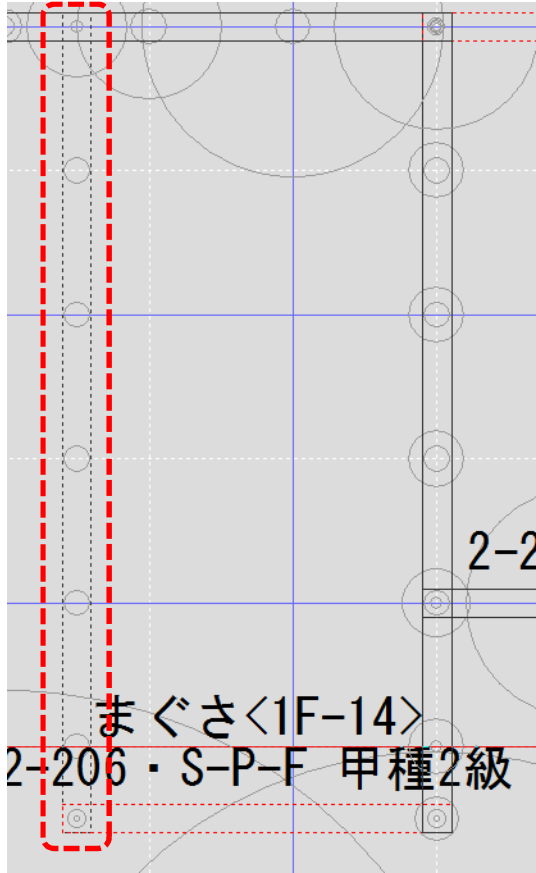
<下階表示>



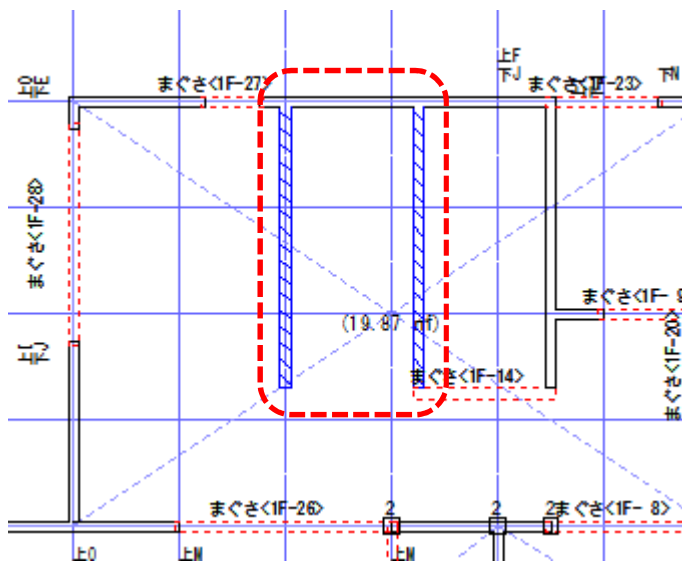
<上階表示>



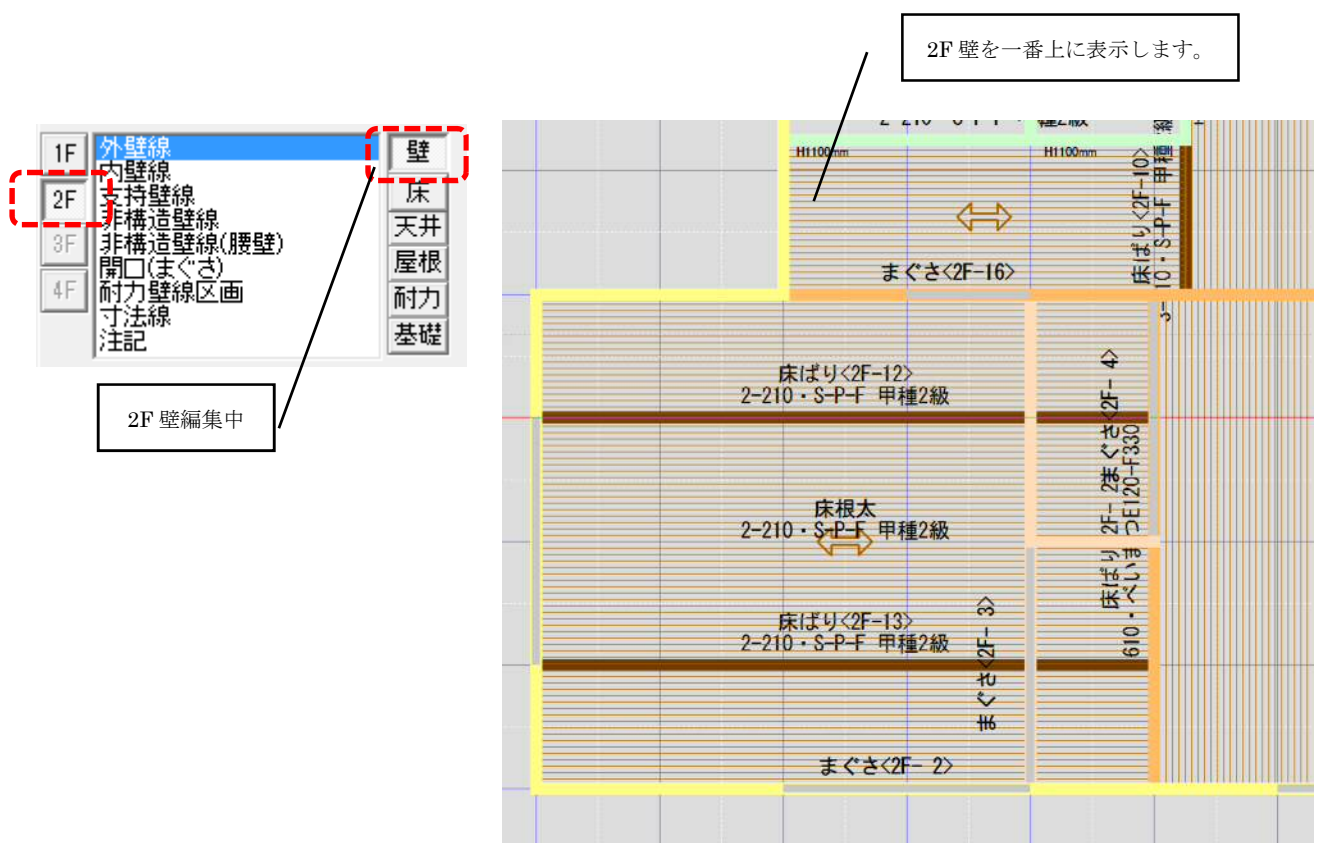
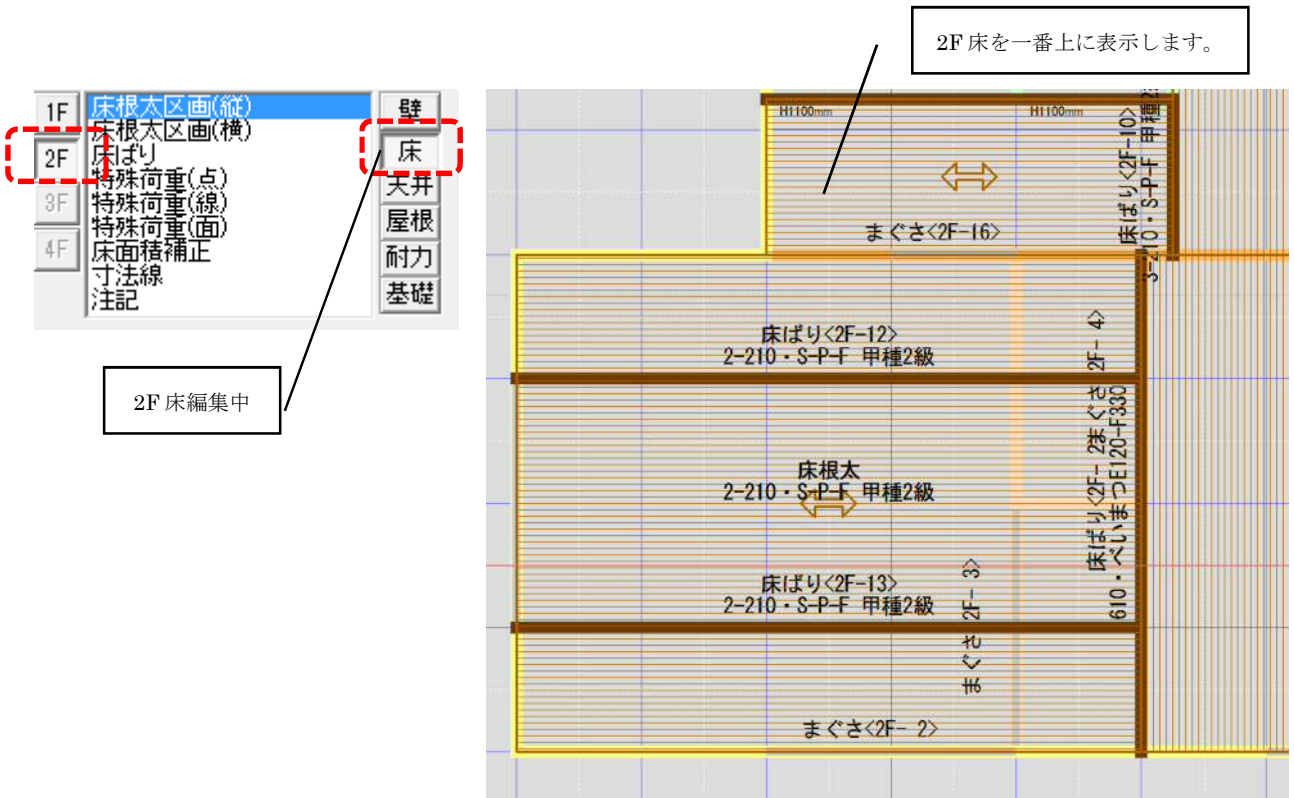
- ・部材チェックで間仕切り壁（手摺壁）が区別出来るように改善しました  
 ※間仕切り壁（非構造壁）は点線表現になります



- ・たて枠平面図（印刷）にて間仕切り壁（手摺壁）が区別出来るように改善  
 ※間仕切り壁（非構造壁）は色つきハッチング表現となります



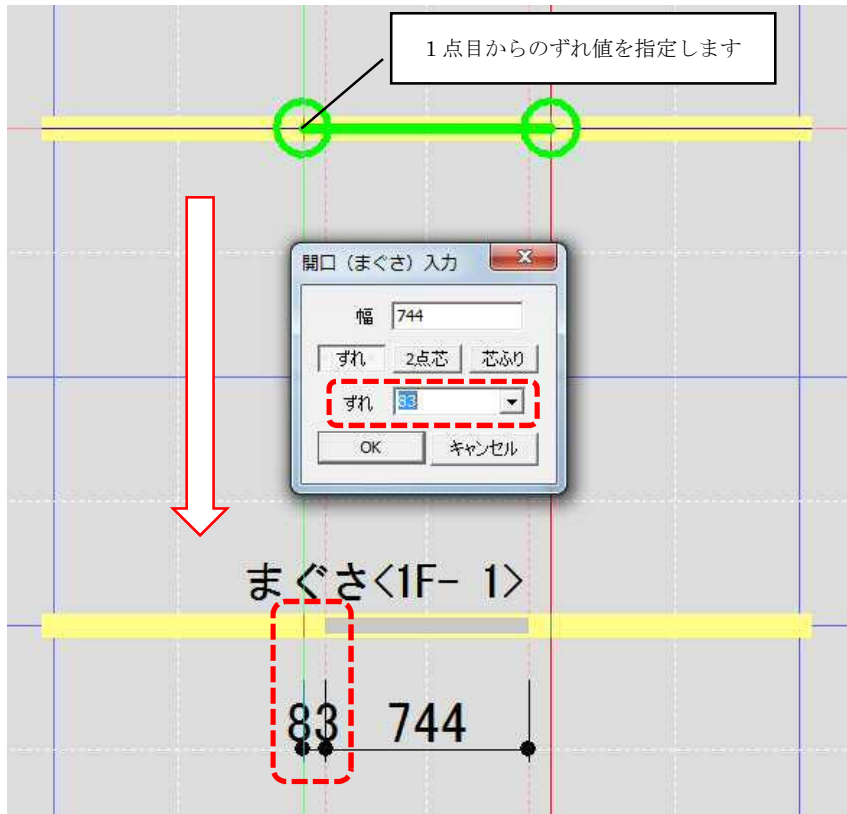
- ・編集レイヤーを一番上に表示するように改善しました。  
従来は、編集レイヤーには関わらず、部位の上下関係の順で表示していました



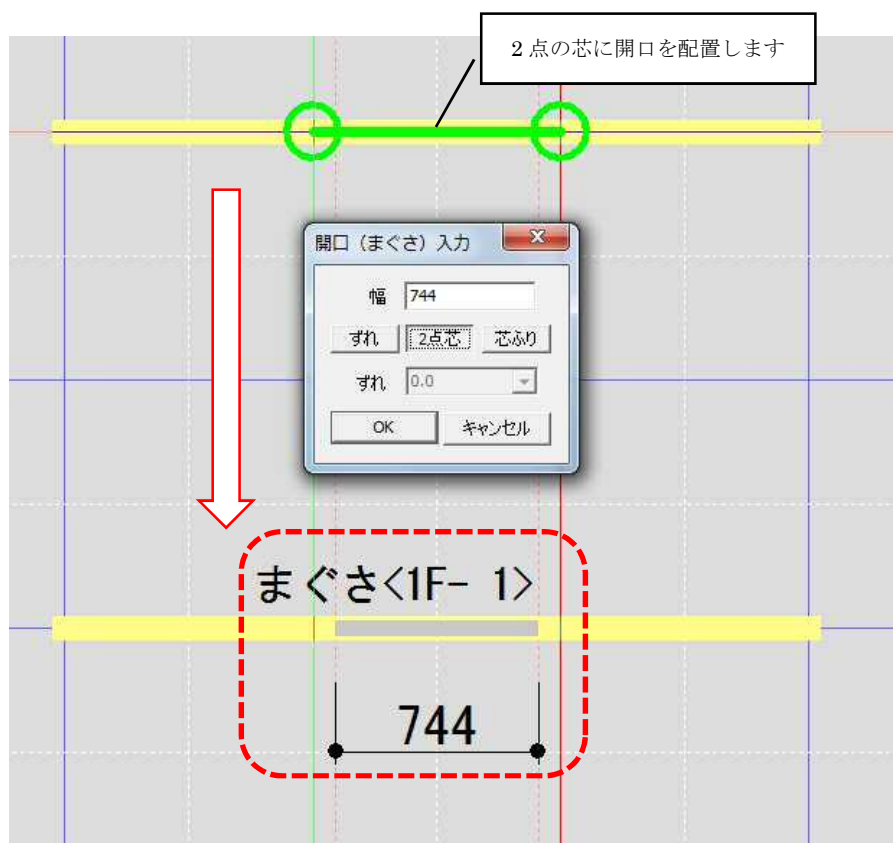
・ 開口（まぐさ）入力の拡張機能

Shift キー押しながらの入力で、配置条件指定することが可能です

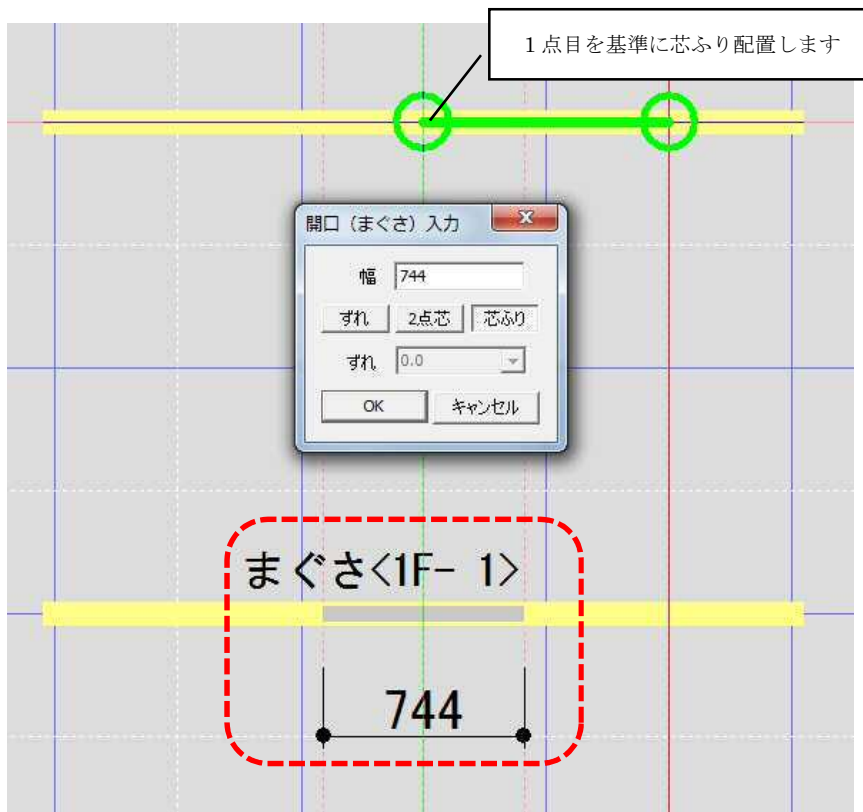
<ずれ指定の入力>



<2点芯の入力>



## <芯ふりの入力>



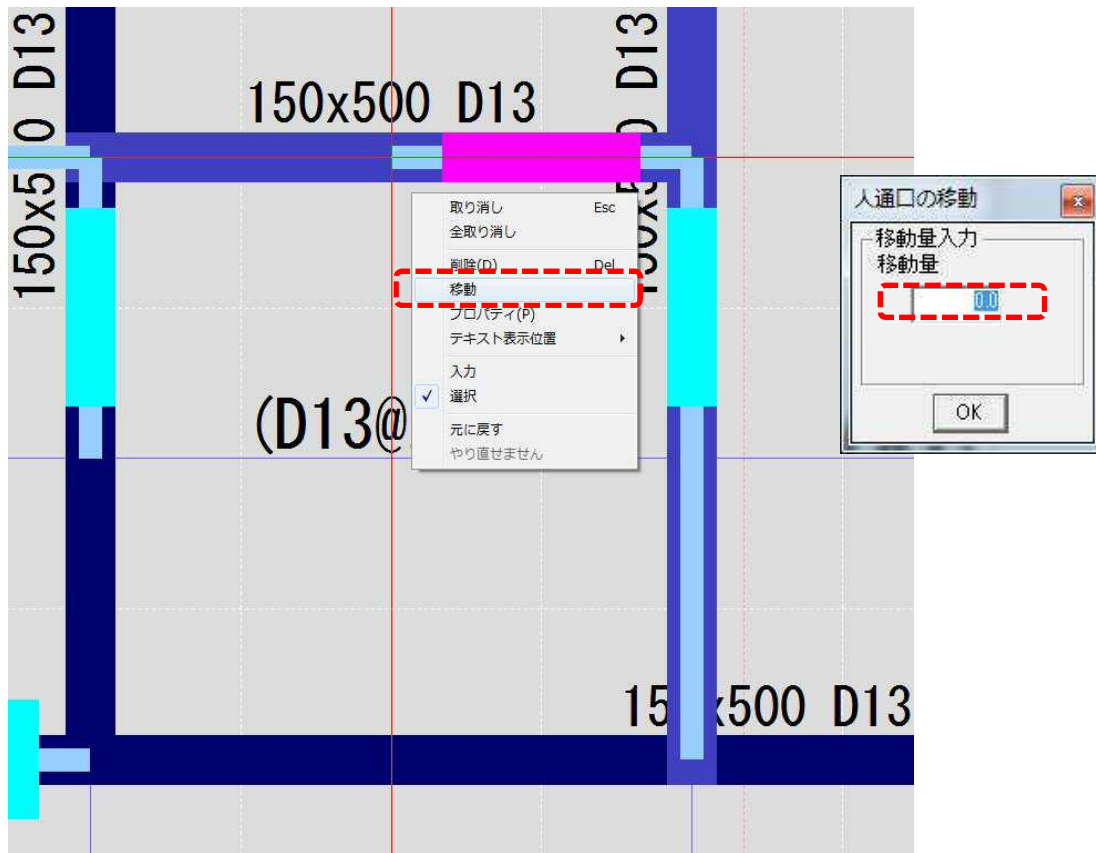
## ・開口（まぐさ）移動機能

開口を選択し、右クリックメニューの「移動」コマンドで開口を移動することが出来ます。  
移動量は座標のプラス、マイナスで指定してください。



- ・人通口移動機能

人通口を選択し、右クリックメニューの「移動」コマンドで人通口を移動することが出来ます。  
移動量は座標のプラス、マイナスで指定してください。



- ・基礎ばり、人通口、スラブのプロパティ変更時の UNDO に対応しました

- 全てのたるき、天井根太、床根太を横架材一覧の対象に出来るようにしました。  
一覧のみで横架材計算書は出力されませんので注意して下さい。
- ※性能評価機関から、計算書出力を指示した部材以外の安全性は問題ないかを問われる可能性がありますので、そのような場合に使用して下さい。
- 横架材一覧を印刷する際、以下のメッセージが表示されます。



「はい」：全ての部材が横架材一覧の対象となります。

「いいえ」：従来通り、梁関連の部材と指示した部材が横架材一覧の対象となります。

横架材の一覧						
梓組太郎邸 新築工事					7-1	
部材	積雪荷重継続時間	せん断(検定比)	曲げ(検定比)	たわみ(検定比)	たわみ量	合否
1FたるきX11通り Y8~Y:6.52 S-P-F 甲種2級/206	長期(常時)	0.10	0.09	0.0318	$\delta=0.0217\text{cm}$	○
	短期(積雪時)	0.12	0.11	0.0409	$\delta=0.0372\text{cm}$	
1FたるきX11通り Y8~Y:8.661 S-P-F 甲種2級/206	長期(常時)	0.09	0.07	0.0289	$\delta=0.0087\text{cm}$	○
	短期(積雪時)	0.10	0.09	0.0372	$\delta=0.0149\text{cm}$	
1FたるきX12通り Y8~Y:7.52 S-P-F 甲種2級/206					$\delta=0.0004\text{cm}$	○
					$\delta=0.0006\text{cm}$	
1FたるきX12通り Y8~Y:8.661 S-P-F 甲種2級/206	長期(常時)	0.09	0.07	0.0289	$\delta=0.0087\text{cm}$	○
	短期(積雪時)	0.10	0.09	0.0372	$\delta=0.0149\text{cm}$	
1FたるきX13通り Y:8.5~Y:8.66 S-P-F 甲種2級/206	長期(常時)	0.07	0.01	0.0013	$\delta=0.0001\text{cm}$	○
	短期(積雪時)	0.08	0.02	0.0017	$\delta=0.0002\text{cm}$	

「はい」を選択すると  
補強指示や計算書出力指示していない  
部材も一覧に出力されます。

部材番号の替わりに、配置されている通りと始端終端のグリッド位置が表示されます。

- ・間崩れ梁下のたて枠検討に対応しました。

従来、たて枠検討はピッチ（910 モジュールなら 455）上のみが対象でしたが  
間崩れ上の梁下のたて枠検討にも対応しました。

